

## 採択拠点の拠点形成概要・採択理由

【分野名：革新的な学術分野】

機 関 名	東京工業大学
拠点のプログラム名称	インスティテューショナル技術経営学
中核となる専攻等名	社会理工学研究科経営工学専攻
事業推進担当者	(リーダー) 渡辺千仞 教授 外19名
<p>(拠点形成概要)</p> <p>1. 「技術の創造から事業化までのイノベーション創出サイクルは、国家戦略・社会制度・企業の組織文化、時代背景といったインスティテューションとの共進のダイナミズムに大きく依存し、日本型技術経営のシステムは、本来的にこの面の卓越した機能を内包」との認識に則り、東工大の理工学基盤をベースに、経営工学を中心に一連の学際的研究資源を糾合して、戦略・戦術、オペレーション、歴史的俯瞰の3視点から共進ダイナミズムを解明し、可視化・操作化をできるようにするための理論および方法論を研究する革新的な学術分野を創造する。2. 世界に通用する日本型技術経営に関する研究・教育リーダー、国際実践リーダー、次世代研究の担い手、を5年間で30名以上輩出する。平成17年度設置予定のイノベーションマネジメント研究科(大学院MOT研究科)のMOT教育研究の内容を大きく飛躍させる波及効果を生み出す。3. 以上を通じ、インスティテューションの異なる国でも適用可能な世界価値に昇華する「インスティテューショナル技術経営学」を確立し、MOT研究科を受け皿とする研究センターとして、米国流技術経営から日本型技術経営学への革新を図る拠点を形成する。</p>	
<p>(採択理由)</p> <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>日本的技術経営に照準を合わせたこれまでにない拠点形成計画であり、その強み、弱みの両者が科学的、計時的に解明され、また、将来へ向けての方向が提示されることが期待される。</p>	
<p>&lt;革新的な学術分野であるポイント&gt;</p> <p>技術経営の対象自体に視点を固定するのではなく、技術経営の実態的对象を取り巻く制度や環境条件の特性まで視野を拡大することにより、インスティテューション(イノベーションを生み出す土壌)を重視した日本的な技術経営学からスタートし、土壌の異なる国でも適応可能な一般性のある技術経営を目指す点で、革新的な学術分野の開拓が期待できる拠点形成計画である。</p>	